

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870105016
法人名	社会福祉法人 道真会
事業所名	グループホーム はぶやま
所在地	松山市高岡町779番地6
自己評価作成日	平成21年12月12日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年1月21日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

管理栄養士による献立で、栄養管理ができています。
団地内にあり、山を背にして、季節の変化を体感できる静かな環境にある。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

●職員は、年2回外部研修を受講することになっており、「ハンド・マッサージ」を研修時習った職員は、事業所でも実践され、利用者にたいへん喜ばれたようである。
●年2回発行の「はぶやまだより」で事業所の行事や日々の生活の様子を写真入りで紹介し、職員の名前等もご家族に知らせておられる。ご家族の来訪時やお電話で日々の様子を伝えて、ご意見をうかがうようにされている。遠方のご家族にお手紙を出したり、心配されていることについて報告するよう努めておられる。家族会を年に一回開催されており、ご家族からは、「利用者ご本人と散歩をしていると地域の方があいさつをしてくださるのがうれしい」という感想をいただいた。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる （参考項目：23,24,25）	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています （参考項目：9,10,19）	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらい 3. 家族の1/3くらい 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある （参考項目：18,38）	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている （参考項目：2,20）	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている （参考項目：38）	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている （参考項目：4）	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている （参考項目：36,37）	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている （参考項目：11,12）	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらい 3. 職員の1/3くらい 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている （参考項目：49）	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている （参考項目：30,31）	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらい 3. 家族等の1/3くらい 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている （参考項目：28）	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

- 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。
- チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム はぶやま

(ユニット名) 花

記入者(管理者)

氏 名 江頭 喜代美

評価完了日 平成 21年 12月 12日

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価)	
			毎朝申し送りの時、唱和し確認し、理念に基づいて実践している。	
			(外部評価)	
			事業所開設時に「いつも笑顔・やさしさ・おもいやり」と理念を作成されており、日々のケアの中で実践に取り組んでおられる。	事業所では、今後理念に沿った「短期方針」を作成することになっていた。さらに「地域密着型サービス事業所」としての方針についても話し合わせ、具体的な取り組みにつなげていかれてほしい。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価)	
			日頃より、あいさつや自治会の行事への参加をしている。	
			(外部評価)	
			事業所は団地の自治会に加入し、回覧板も回ってくるようになっている。自治会長の方から団地の盆踊り大会へ誘っていただき、皆で出かけて地域の方たちとともに楽しまれた。年に数回、歌手や楽器演奏をしてくださるボランティアの方の訪問があり、利用者に懐かしい歌を聞かせてくださったり、一緒に歌ったりと楽しいひと時を過ごされている。	団地内の高齢化もすすんでいる現状のようである。地域のニーズ等も探り、事業所の特性も活かして、貴事業所ならではの「地域とのお付き合い」の取り組みをすすめていかれてはどうだろうか。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価)	
			運営推進会議を通して、地域の方からの相談等、可能な事を伝えている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている	(自己評価)	
			会議録にて、全員が内容把握し、サービス向上に活かしている。	
			(外部評価)	
			会議では、前回の会議の概要を説明してから始めるようにされており、事業所の活動や現況報告を行い、意見交換を行っておられる。ボランティアの方のコンサートの後に会議を開催されたこともある。防災がテーマの会議には利用者2名が参加して、戦争当時ご苦労されたことを聞かせてくださった。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる	(自己評価)	
			各種手続き方法や相談を、電話や会議等で行っている。	
			(外部評価)	
			市の担当者に介護保険のことや、生活保護受給者の生活について相談しながら、運営に取り組んでおられる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正しく 理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価)	
			常にワーカー会等で話し合い、危険を予知した時以外は、拘束をしないケアを行っている。	
			(外部評価)	
			入居間もない利用者が落ち着かれず、外に出られる方もあるようで、現在、ユニット出入口に鍵をかけているユニットがあった。	利用者の状態や職員の人員等、むづかしい面もあるだろうが、事業所の理念に基づき、ご本人の思い等も大切にして、安全と安心について職員で話し合い、鍵をかけずに支援できるような支援を模索していかれてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○ 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 研修等で学ぶ機会はある、ワーカー会で話し合い、防止に努めている。	
8		○ 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 制度の理解はできているが、活用はしていない。	
9		○ 契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入居契約時に十分説明し、納得をいただいている。	
10	6	○ 運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族会や面会等で意見要望を聞き、活用している。 (外部評価) 年2回発行の「はぶやまだより」で事業所の行事や日々の生活の様子を写真入りで紹介し、職員の名前等もご家族に知らせておられる。ご家族の来訪時やお電話で日々の様子を伝えて、ご意見をうかがうようにされている。遠方のご家族にお手紙を出したり、心配されていることについて報告するよう努めておられる。家族会を年に一回開催されており、ご家族からは、「利用者ご本人と散歩をしていると地域の方があいさつをしてくださるのがうれしい」という感想をいただいた。	管理者は、ご家族から、事業所のサービスについてのご意見をうかがいたいと考えておられる。たとえば、外出支援等、事業所のケアサービスについて具体的に問いかける等、ご家族が意見や希望等を出しやすくなるように工夫してみようかどうか。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			ワーカー会や、年2回の自己評価に際し、意見や提案を聞き反映させている。	
			(外部評価)	
			職員は、年2回外部研修を受講することになっており、「ハンド・マッサージ」を研修時習った職員は、事業所でも実践され、利用者にたいへん喜ばれたようである。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			年2回の自己評価表や人事考課評価により把握している。	
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			研修を受ける機会は確保されている。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)	
			グループホーム交流会への参加や、同業者の研修や会議に出席している。	
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			新しく利用される方への接遇に気を配り、安心して過ごせるよう努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○ 初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 入居時に十分な話し合いを行い、面会時には良い関係づくりに努めている。	
17		○ 初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 入居時の話し合いや、日々の生活の中で、必要な支援方法を考える。	
18		○ 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 利用者と良い関係を築き、一緒に生活できる様努力している。	
19		○ 本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 本人と家族の関係を、第一に考え支援している。	
20	8	○ 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 面会に来られた時は、再度来てもらえるよう、和やかな時間を過ごしていただいている (外部評価) 調査訪問時、ご家族の来訪があり、ご家族とゆっくり過ごせるよう、職員は、食事を居室に運んでおられた。ご家族と外食やお墓参りに行かれる利用者もある。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 利用者同士が同じ話題を共有し行動できるよう努めている。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 可能な限り努力している。	
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 毎日の生活の中で、本人の思いや希望に添うよう努力している。 困難な場合は、職員間で話し合いがなされ、検討されている。 (外部評価) 職員は、利用者との日々のかかわりの中で知り得た思いや意向等を記録した「申し送りノート」や、月一回の「ワーカー会議」時のご本人の情報を共有し、介護計画につなげるようにされている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入所時の調査票や、家族との会話の中で、各人の生活歴等の把握に努めている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 毎日の生活や、介護しながら各人の現状の把握に努めているが、日々の変化には、もっと注意を払いたい。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価)	
			本人の意向を反映したケアプランの作成に努めている。 家族の同席はないが、面会時等に意見・要望を聞いている。	
			(外部評価)	
			ご家族の要望やご本人の希望等も踏まえて介護計画を作成しておられ、支援内容を毎日、事業所独自の「評価表」でチェックし、3ヶ月に一回計画を見直しておられる。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)	
			毎日を生活日誌に記録し、ケアプランの実践の為にチェック表の記入を、プランの見直しに活かしている。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価)	
			日常生活の中で、日々の変化に対応した支援を続けている。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価)	
			散歩や行事等、毎日の暮らしに楽しみが持てる様努力している。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○ かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価)	
			かかりつけ医との連絡を密にとり、必要な時には専門 医への受診をする等、支援している。	
31		○ 看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(外部評価)	
			入居時、ご本人やご家族の希望を聞き取り、現在は全 利用者が母体医院がかかりつけ医になっており、24時 間いつでも対応してくれるようになっている。眼科や 皮膚科等の専門医は、入居前からのかかりつけ医にご 家族と受診されており、その際には、症状等、事業所 での様子をメモにして渡されている。	
32		○ 入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院で きるように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価)	
			看護職員の配置はないが、かかりつけ医院の看護師と 連絡を取り合い、アドバイス受けている。	
33	12	○ 重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価)	
			早い時期からの家族との話し合いは行っている。事業 所でできることは説明し理解をいただいている。	
			(外部評価)	
			事業所では入居時に、希望があれば看取り支援も行え ることをお話されている。	管理者は、今後利用者やご家族から看取り支援の希望 等があれば、支援していきたいと考えておられる。ご 本人の意向やご家族の希望、又、事業所の方針等も共 有しながら、早い段階から話し合う機会を作ってい かれてほしい。さらに、職員が勉強する機会等、事業所 の体制作りに向けても取り組みをすすめていかれてほ しい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○ 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 定期的な訓練は行っていない。全ての職員が実践力を身に付けてはいない。	
35	13	○ 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 定期的に防火訓練は行っている。災害時の避難方法や地域との協力体制は、常に話し合っている。 (外部評価) 事業所が所在する団地内には災害時の緊急連絡網があり、いざという時には防災士等も駆けつけてくれるようになっている。避難訓練の際に、消防署からは「隣近所の協力が一番大事です」とのアドバイスをいただいたり、布団を使って利用者を救出する方法等を教えていただいた。事業所を緊急時の地区の避難場所として提供できることを自治会に伝えておられる。地区の防災訓練に職員数名が参加された。	山が近くにあり、山崩れや水害等の危険もあることを地区の方に教えてもらっている。いろいろな場面を想定した訓練を重ね、又、地域の方達との相互協力体制作り等もさらにすすめ、利用者や職員の安全・安心に向けて取り組んでいかれてほしい。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○ 一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 日頃から、言葉かけ等、各人に合った対応を心掛けている。 (外部評価) 職員は、やさしい言葉と笑顔で利用者に接しておられた。管理者は、夜間等「ナースコール対応は迅速に行う」ことの大切さを話しておられる。又、職員は、利用者に「楽しく過ごして欲しい」との思いから、「1日のうちで利用者一人ひとり1対1で話す」ことや「レクリエーションに力を入れたい」と話しておられた。	
37		○ 利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 毎日のケアの中で、声かけし本人の思いをくみ取る様、努力している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 意思表示のできる人には、希望に沿った支援できているが、できない人には思いをくみ取る努力をしている。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) その人らしい身だしなみには、支援できている。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) おしぼりやエプロンをたたんで頂いたり、食材の下ごしらえ等、できる事はお願いしている。準備・片付けは出来る方がいない。 (外部評価) 毎日の食材は業者から届くようになっており、職員が調理されている。調査訪問時、12時になったらテレビを消して食事の時間となり、職員は利用者の間に入り、「おいしいですか」と声をかけながら、食器を手元に寄せる等、ご本人が食べやすいように介助をされていた。職員個々がお弁当を持参されており、介助後に食事をとっておられたり、又、食事時間が休憩となっている職員もあった。利用者からの「お寿司」「刺身」等のリクエストは、栄養士に伝えて、メニューに採り入れるようになっていいる。月一回の誕生日会には、職員の手作りケーキでお祝いをされている。	「食事をたのしむことのできる支援」という点から、現在の事業所の食事支援について工夫や配慮できる点はないか話し合われてみてはどうだろうか。グループホームの有用性等も踏まえて食事支援の意義等について、職員で話し合ってみる機会にされてはどうだろうか。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 各人の状態に応じた支援をしている。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後の口腔ケアは、職員の手助けで行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	
			各人の排泄パターンに応じたケアを行っている。定時までのトイレ誘導も行っている。	
			(外部評価)	
			日中はトイレで排泄ができるよう、声かけや誘導をされている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	
			便秘予防の対応はしているが、下剤を利用することもある。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	
			曜日、時間帯は決めているが、本人の意向にそって入浴日の変更等を行っている。	
			(外部評価)	
			「浴槽をまたぐことがむづかしいような利用者」は、1階のリフト浴を利用して、湯船で温まれるように支援されている。季節によって柚子湯や菖蒲湯を楽しまれたり、入浴を嫌がられる利用者には声をかけるタイミングを工夫し、支援されている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	
			体調に応じて支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬ノートを作成し、各人の処方等の把握に努めている。 薬の保管、在庫の管理も出来ている。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 各人の出来る事・楽しみにしている事等、毎日の生活に取り入れて気分転換していただいている。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 散歩か買い物等、本人の希望に添うよう努力している。 家族の協力も持て外出もされている。 (外部評価) 春はお花見ドライブ、秋には畑でサツマイモの収穫を楽しまれた。近くに公園があり、暖かい季節には散歩に出かけておられる。日曜日は「車に乗って出かける日」になっており、少人数ずつ利用者の希望に沿って、マーケットや飛行場等に出かけておられる。外出の前には、トイレ等、利用者が使用できるか確認をされている。	 さらに、利用者の行きたい所や懐かしい場所等を探り、訪ねてみるような支援にも取り組んでみてはどうだろうか。ご家族等にも相談しながら、取り組みをすすめてみられてほしい。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 小額のお金を持っている方もいるが、ほとんどの方は、金銭管理ができない。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 本人の希望があれば電話をかけることは出来る。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	
			季節の花を飾ったり、壁面装飾等で生活感を取り入れている。室温調整には特に気配りしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(外部評価)	
			利用者と職員で、毎月大きな数字のカレンダーを作って飾られている。壁際の椅子がお気に入りの場所になっている男性利用者も見られた。1階のデイスervス跡に、ピアノがあり、時々演奏会等を行っておられる。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	
			本人の意向にそった居室作りに配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(外部評価)	
			以前から畳で過ごすことに馴染んでおられる方や、こたつを好まれる方には、お部屋に畳を敷いておられた。誕生日に贈られた「おおばあちゃん、おめでとう」のメッセージとともにひ孫さんの写真を飾っておられる方もある。夜間眠るまでの間、テレビを見られる方もある。各居室には洗面台があり、歯磨きをされる方もある。	
55			(自己評価)	
			トイレや廊下の手すり等、自立に向けた工夫はされている。	